

令和5年度 那覇市立教育研究所運営審議会

日 時：令和5年6月16日（金） 15：30～17：00

司 会：教育研究所 指導主事 與儀真理子

参加者：運営審議会 委員（7名：9名中2名欠席）

教育研究所 所員（21名：22名中1名欠席）

記録：指導主事 下地達也

会 順	発言者	内 容
1 開会の言葉	與儀	司会 與儀
2 委任状及び任命状交付	所長	委嘱状交付補助 山田 委嘱状交付（3名） 小野寺清光 山内淳子 大田 寛（欠席） 委任状（3名） 吉村聡子 嘉数千賀子 内間正樹
3 所長挨拶・研究所所員紹介	所長 各自	
4 審議会委員自己紹介	各自	所員紹介終了後情報G退室
5 議長選出・挨拶		議長選出：内間正樹（代理） 上江洲朝男 会長 欠席のため
6 審議会	内間 委員 内間 委員	議長代理：内間 会議の公開に関する実施方針に基づき、本審議会を公開とすることに意義はありませんか。 異議なし 報告事項（2）の6「令和5年度 教育研究所の予算について」は非公開としてよろしいか。 異議なし

<p>報告事項 (1) 令和5年度教育研究所運営方針</p> <p>報告事項 (2) 令和4年度教育研究所実施事業概要及び令和5年度事業計画</p> <p>①教育研修 G</p> <p>②情報支援 G</p>	<p>所長</p> <p>山里</p> <p>山田 屋富祖</p>	<p>(1) 運営審議会資料 P 2、3、4、78 を中心に説明 「那覇市学校情報化推進計画」 P 28 の説明</p> <p>P 2、5～8 を中心に説明</p> <p>P 9～12 を中心に説明 P13 を中心に説明</p>
<p>7 質疑応答</p>	<p>内間</p> <p>山里</p> <p>所長</p> <p>池間</p> <p>山里</p>	<p>Q: 4月、5月と忙しい中、学校現場においてオンラインやオンデマンドでの研修の開催でとてもありがたいと思っています。オンラインから参集型に戻っている。研修の在り方について研究所ではどのように考えているのか。</p> <p>A: 研修の内容によって、協議を要する研修については参集型と講義中心の内容の研修についてはオンラインを利用しています。また、研修の趣旨に沿って開催方法を考えています。</p> <p>A: 前年度、示範授業をオンデマンド視聴の準備を行い、早いうちに初任者に見せることができました。</p> <p>Q: オンデマンドやズームで行う研修において、問題を感じる場面がないのか。学生がオンデマンドやオンラインで学習してきているが、講義を聴いていない話を聞いている。先生方にとってもこういうことはないと思うんですが、オンラインの良さが感じられる場面があれば教えていただきたい。</p> <p>A: 参集型の研修で欠席している方には、研修を動画を撮ってオンデマンドで配信し研修してもらうことがある。</p>

	<p>與儀</p>	<p>A: 録画している研修の内容を、研修生が気になる所をくりかえし確認することができます。学校現場では業務が重なる場合もあるが配信期間を設けたので、学ぶことができました。子どもたちをおいて研修先に向かうのではなく、校内で研修を受けることができるということで安心しているという声もあります。</p>
	<p>小野寺</p>	<p>Q: 先生方の研修企画作成のための費用を文科省から予算を頂いている。研修先で活用できないか考えている。那覇市の学校においてどのようなコンテンツがあればいいのか教えていただけると助かります。</p>
	<p>内間</p>	<p>オンデマンドのコンテンツでも長いものは40分くらいになる。短いものであると、いくつかの種類を見ることができるのではないかと思う。長いものはなかなか時間を見つけるのが大変な場合がある。</p>
	<p>吉村</p>	<p>Q: 情報担当がICT指導員と連携して研修を考えているが、負担が大ききようである。オンデマンドでもよいので紹介できるコンテンツがあると担当は助かると思います。</p>
	<p>小野寺</p>	<p>Q: 情報セキュリティについて、企業では研修を受けるが、最近はオンデマンドによる研修が多くなっている。市販のコンテンツがある。</p>
	<p>金城</p>	<p>Q: 初任者の研修で参集型とオンライン活用の研修がある。研修の中でグループで話し合う場合、ICTを活用しながら行う方法について課題を共有し、授業づくりをしていく話し合いで、オンラインを活用して話し合いを行うことで、ICTスキルが身につけていくことができるし、良い方法があれば、子どもたちにも還元できるということもあるが、研究所ではどう捉えているのか。また、コロナ禍の中で体験的な活動ができなかった期間があった。先生方が、子どもたちと一緒に遊ぶことや活動することが苦手な先生が多いように感じる。研修の内容に体を動かすような研修を取り入れられないか。</p>

	與儀	A:昨年、中堅教諭の研修で、Meet を活用して協議してきたが、内容を共有することはとても難しいし、伝わりにくいという声が挙がっていた。今後、初任研のグループ協議が始まるが Meet を活用してもいいし、参集型でもよいことを伝えている。授業づくりについて、11月、12月頃に研修を考えている。また、体験的な活動ということでは、これまで宿泊研修でしたが、今年度は、夏休みに糸満青年の家でのレクやマナーについて体験的に学べる研修を計画している。
	金城	A:県の open アカウントによる Teams と Meet と比べてどちらがよいのか。Teams はデータが重くても会議等しやすいのではないかなと思う。
	阿波連	A:データ量に関しては、Meet より Teams のほうがよいと思う。那覇市においては、アカウントを先生方に配布している。そのため那覇市では Meet の方が活用しやすいと考えている。県の open アカウントもよいのですが二段階認証等に手こずっている先生がいる。どちらがよいかは分からないですが、那覇市のほうでは Google アカウントを利用してほしいと考えている。
	内間	子どもたちに ICT 機器を活用した学習スタイルがどんどん浸透してきている。
	吉村	Q:夏休みから5・6年生がタブレットを持ち帰りについて不安がある。学校でできることは情報モラルを指導していくことではあるが、情報の扱い方や端末を破損した場合などの対応についてどのように考えている。
	山田	A:損害賠償でしたら、以前と違って重過失や故意という文言がなくなっている。よほどのことがなければ弁償させることはありません。
	吉村	Q:無くしたり、壊したりすることがないか心配になる。
	山田	A:ほんとに故意でなければ弁償にはいたらない。
	吉村	Q:研究所と相談して対応するようにしていきたい。

	山田	A:学校内で普通にタブレットを扱っている場合に関しては大丈夫です。
	池間	Q:資料 P7 にある研修以外に、指導助言を依頼されて年間どれくらい出向していたか資料等があれば教えてほしい。
	與儀	A:具体的な数は分からないが、指導助言として校内研3・4回、小中一貫合同研修会、那覇市計画訪問、事務所学校訪問等があります。
	池間	Q:できればどのような内容で助言に出向しているのか資料があれば、現場の先生方が目にする事で「このような依頼ができるんだ」と分かりやすくなることで依頼しやすくなるのかなという意図で質問した。
	金城	Q:P9のICT支援員について予算がとれているが、どのように活用しているか。
	山田	A:ICT支援員の方が現場にいると質問して活用していただきたい。ヘルプデスク等を活用するように促していくことは研究所でしていく。
	阿波連	A:今まで先生方のPCトラブルについては保守員に依頼してきた。ヘルプデスクを活用していただくことで、保守員の負担の軽減できる。PCに強い先生方は利用していると聞いている。苦手な先生には何を聞いていいのかわからないのでヘルプデスクの扱いに難しさがあるという声は届いている。簡単なプリンターの接続なども教えてくれる。これからアナウンスをして活用していただくようにしていく。
	池間	Q:アナウンスがとどいているのか
	阿波連	A:名刺サイズの宣伝を行っているが、必要なときにどこにあるのかわからないということがあるので課題ではある。
	所長	A:文書等を利用してあの手この手で周知を図っているが

<p>8 協議 「今後の研究所に望まれること」</p>	<p>池間 所長 池間 所長 内間</p>	<p>保守員に連絡が来ている。リモートによる対応も行っている。</p> <p>Q:これまでお膳立てしてもらって ICT を使ってきたが、これからは ICT 教育の支援の仕組みについて提供していくようにしないといけないかと思います。ICT を使うためにはどうしたらよいのか耕していく時期なのかなと感じた。</p> <p>A:活用は増えてきている。ヘルプデスク等の対応で課題があったが、業者と話し合いを詰めていき対応している。業者のほうも対応しながら、スキルが高まっているのではないかと捉えている。</p> <p>Q:これまでの質問を取りまとめて周知してあげると何を聞いていいのかわかるのではないか。やはりこれからは、ICT 教育をどう使っていくのか、自分でつかんでいくような研修が必要なのではないか。</p> <p>A:研修の在り方を工夫していく必要性を感じている。</p> <p>質疑応答の時間を超過している。 協議内容については質疑応答の中に含まれていましたので、協議は割愛する。</p>
<p>9 閉会の言葉</p>	<p>司会</p>	